



「ホーランエンヤ」開催による 島根県内への経済波及効果



2019 年 5 月

株式会社日本政策投資銀行 松江事務所

1. はじめに

- 2019年5月、日本三大船神事（※1）の1つ「ホーランエンヤ」（※2）が10年ぶりに9日間にわたって開催される。
- 今から370年前、天候不順による不作を心配した松江藩主松平直政公が、豊作を祈願する祭事を催しそれが成就して以来、10年から12年毎に営まれる五穀豊穡や住民の幸せを祈願する祭りである。直政公入府170年後の1808年（文化5年）、馬潟沖で暴風雨に晒された神輿船を漁師が助け阿太加夜（あだかや）神社までお送りしたのに由来し、権伝馬船が神輿船の曳き船を務めるようになったとされる。
- 城山稲荷神社の御神霊を船で松江市東出雲町の阿太加夜神社にお迎えし（渡御祭）、7日間にわたる大祈祷の中日には陸船による権伝馬（かいでんま）踊りを奉納し（中日祭）、再び船団によって城山稲荷神社まで御神霊をお送りする（還御祭）。
- 渡御祭と還御祭は、色とりどりに装飾された権伝馬船を中心とする100隻を超える船団が大船行列を作る壮大な姿と、船上で披露される華麗な踊りが楽しめる。
- 本レポートは、10年ぶりのホーランエンヤ開催に当たり、松江市民と観客が一体となって祭りを盛り上げ、松江市の知名度や観光目的地としての魅力が高まることを期待して、ホーランエンヤ開催による島根県内における経済波及効果を試算するものである。

（※1）残りの2つは、大阪天満宮の天神祭（大阪府大阪市）、厳島神社の管絃祭（広島県廿日市市）。

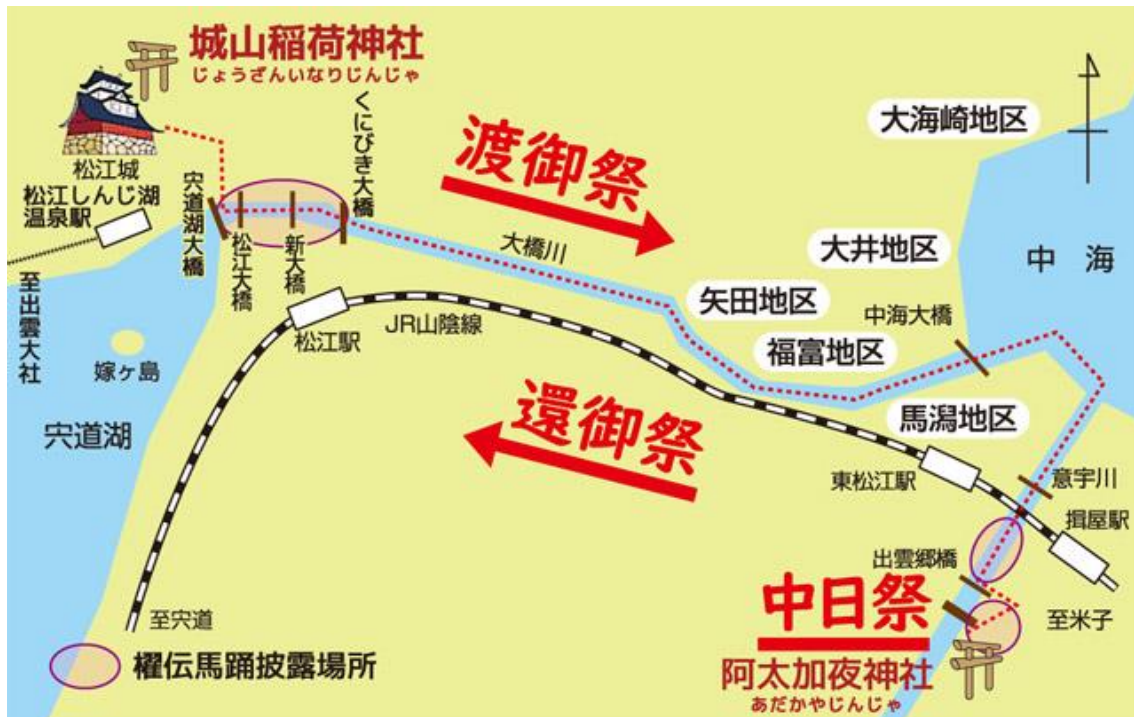
（※2）ホーランエンヤは、城山稲荷神社（松江市殿町）の式年神幸祭の通称。

（注）本レポート中の写真・地図等の出典は、いずれも「伝統・ホーランエンヤ協賛会」。



2. スケジュール・観覧場所

【日程及び順路】



○渡御祭（ときよさい） 5月18日（土）

- ✓ 祭の幕開け。城山稲荷神社での祭典後、御神霊を厳かな陸行列で大橋川河畔へお運びする
- ✓ 護岸に溢れる人々とともに、豊かで幸多き年であるようにと願いながら勇壮かつ華麗な権伝馬踊りを奉納し、約100隻、約1kmにも及ぶ大船団は約10km離れた隣町の阿太加夜神社まで向かう

○中日祭（ちゅうにちさい） 5月22日（水）

- ✓ 7日間の大祈禱の中日に、阿太加夜神社の氏子は権伝馬を招き入れる
- ✓ 境内にたどり着くと、五大地がそれぞれ順番に権伝馬踊りを奉納し、安置された御神霊をお慰めする

○還御祭（かんぎょさい） 5月26日（日）

- ✓ 7日間の大祈禱を終え、阿太加夜神社に安置されていた御神霊が、初日の渡御祭とは逆の経路をたどって、もとの城山稲荷神社にお還りになる

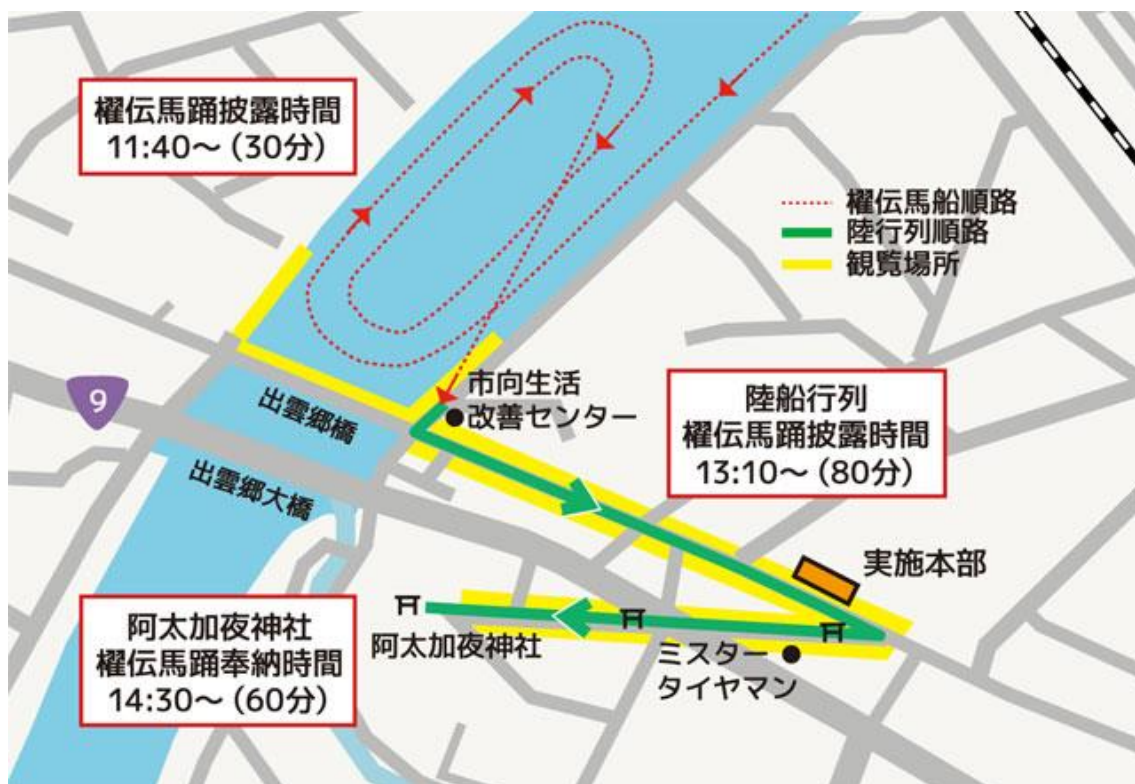
【渡御祭 5月18日（土）】

時刻	行事内容
6:00	斎行決定会議（城山稲荷神社）
8:30	松江城山稲荷神社祭典開始
9:00	祭典終了
9:20	御神輿陸行列出発
9:20	御神輿船団集合（権現灘）、阿太加夜神社船団集合（くにびき大橋東）、 權伝馬船団集合（宍道湖大橋南詰東側）
10:00	御神輿陸行列到着（松江大橋北詰棧橋）
10:00	阿太加夜清目船清目開始
10:05	御神輿乗船（一向の曳航で權伝馬踊奉納場所へ）
10:05	權伝馬踊奉納開始 事務局出発合図 宍道湖大橋～松江大橋間 2 周 観覧時間約 55 分 松江大橋～新大橋間 3 周 観覧時間約 75 分 新大橋～くにびき大橋間 2 周 観覧時間約 65 分
12:40	權伝馬踊奉納終了
13:10	船団編成開始（くにびき大橋東側）
13:25	船団編成完了、出発
14:10	船団解除（先頭：意宇川河口～最後尾：馬潟弁天島）、意宇川自走
15:10	全船到着（出雲郷橋） 神輿船移動（權伝馬踊奉納場所へ） 權伝馬踊奉納開始 事務局出発合図（出雲郷橋付近 2 周 観覧時間約 30 分）
15:40	御神輿陸行列出発
15:40	權伝馬踊終了 全船帰港（出雲郷橋）
16:00	御神輿陸行列到着（阿太加夜神社） 祭典開始（阿太加夜神社）
17:00	祭典終了



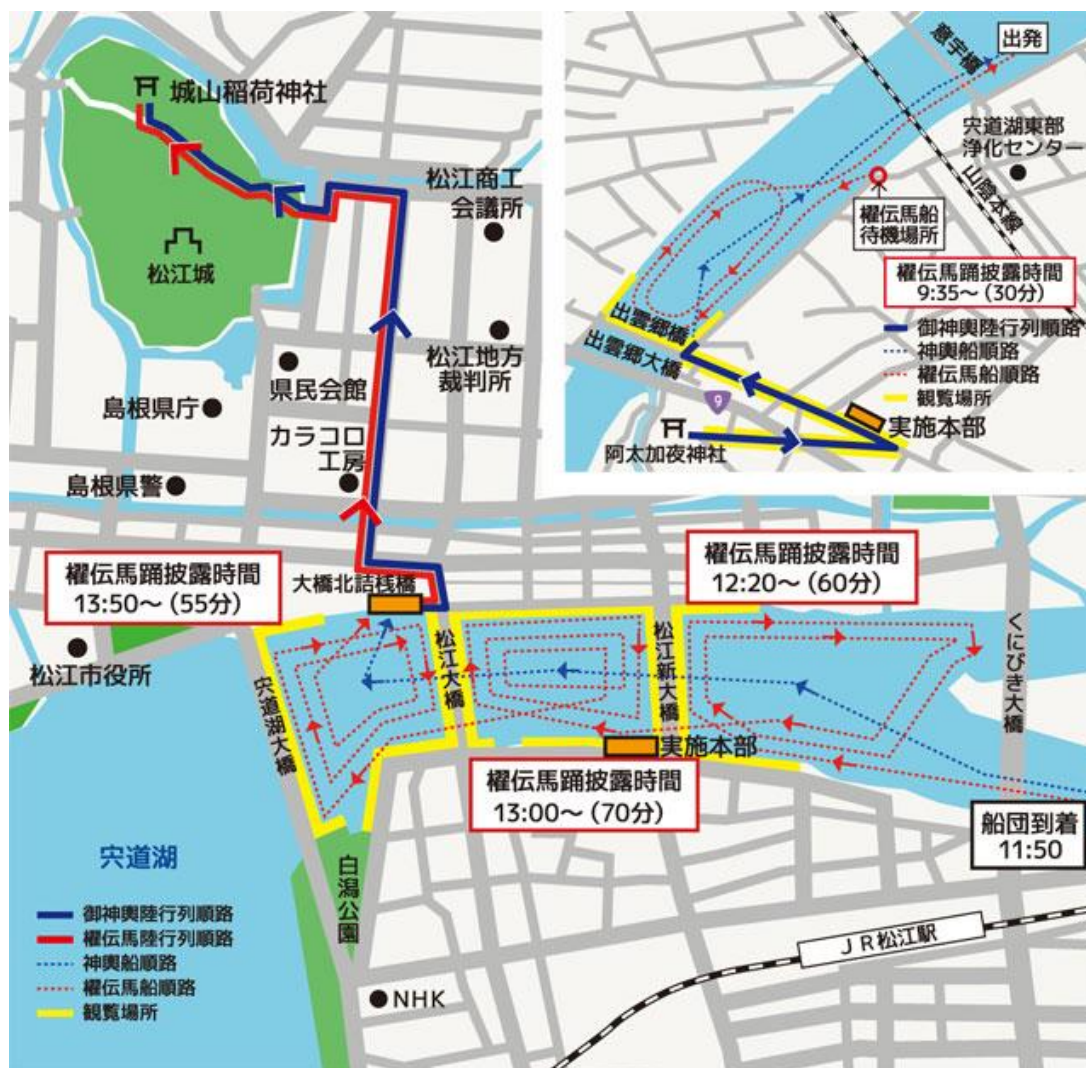
【中日祭 5月22日（水）】

時刻	行事内容
7:00	斎行決定会議（阿太加夜神社）
10:00	祭典開始（阿太加夜神社）
10:50	祭典終了
11:30	權伝馬船集合（出雲郷橋）
11:40	權伝馬踊開始（出雲郷橋付近 2 周観覧時間約 30 分）
12:10	權伝馬踊終了、上陸・陸船準備
13:00	出発式
13:10	陸船行列出発、陸船權伝馬踊開始（観覧時間約 80 分）
14:30	陸船權伝馬踊終了 陸船行列到着（阿太加夜神社）
14:30	權伝馬踊奉納開始（神社境内）（観覧時間約 60 分）
15:30	權伝馬踊奉納終了
16:00	祭典終了



【還御祭 5月26日（日）】

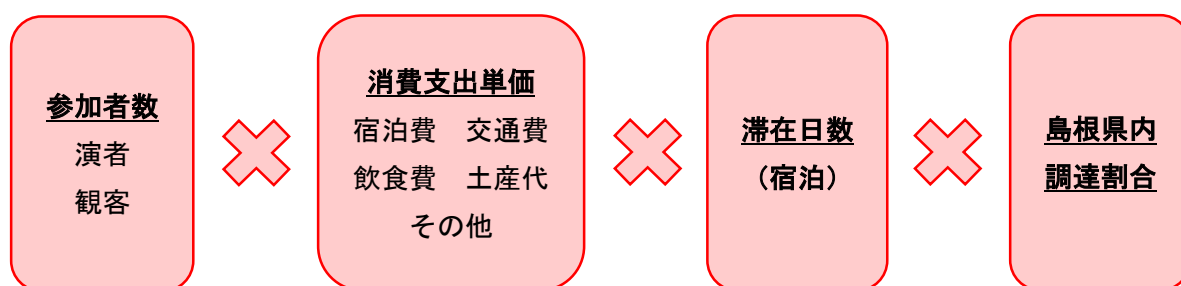
時刻	行事内容
6:00	斎行決定会議（城山稻荷神社）
7:00	神社・本部関係者集合（バスで阿太加夜神社へ移動）
8:00	祭典開始（阿太加夜神社）
8:30	祭典終了
9:00	御神輿陸行列 出発（阿太加夜神社）
9:00	神輿船団、阿太加夜船団、權伝馬船団集合（出雲郷橋）
9:30	御神輿陸行列到着（出雲郷橋）
9:30	阿太加夜清目船清目開始（出雲郷橋下流側）
9:33	御神輿乗船（權伝馬踊奉納場所へ）
9:35	權伝馬踊奉納開始 事務局出発合図（出雲郷橋付近 2 周観覧時間約 30 分）
10:05	權伝馬踊終了（馬潟沖へ移動）
10:50	全船馬潟沖にて船団編成開始（先頭、馬潟沖手間天神社～最後尾、馬潟弁天島）
11:05	船団編成完了、出発（馬潟沖）
11:50	船団解除（くにびき大橋東側）、待機（くにびき大橋西側）
12:20	神輿船移動（權伝馬踊奉納場所へ）
12:20	權伝馬踊奉納開始事務局出発合図 くにびき大橋～新大橋間 2 周 観覧時間約 60 分 新大橋～松江大橋間 3 周 観覧時間約 70 分 松江大橋～宍道湖大橋間 2 周 観覧時間約 55 分
14:45	權伝馬踊奉納終了
15:00	御神輿陸行列出発（松江大橋北詰橋）
15:00	權伝馬上陸（松江大橋北詰橋）
15:25	權伝馬陸行列出発
15:40	御神輿陸行列到着（城山稻荷神社）
15:45	祭典開始（城山稻荷神社）
16:30	祭典終了
17:05	權伝馬陸行列到着（城山稻荷神社）
17:10	權伝馬踊奉納開始（境内：馬潟權伝馬から）
18:00	權伝馬踊奉納終了 松江城山稻荷神社式年神幸祭全日程終了



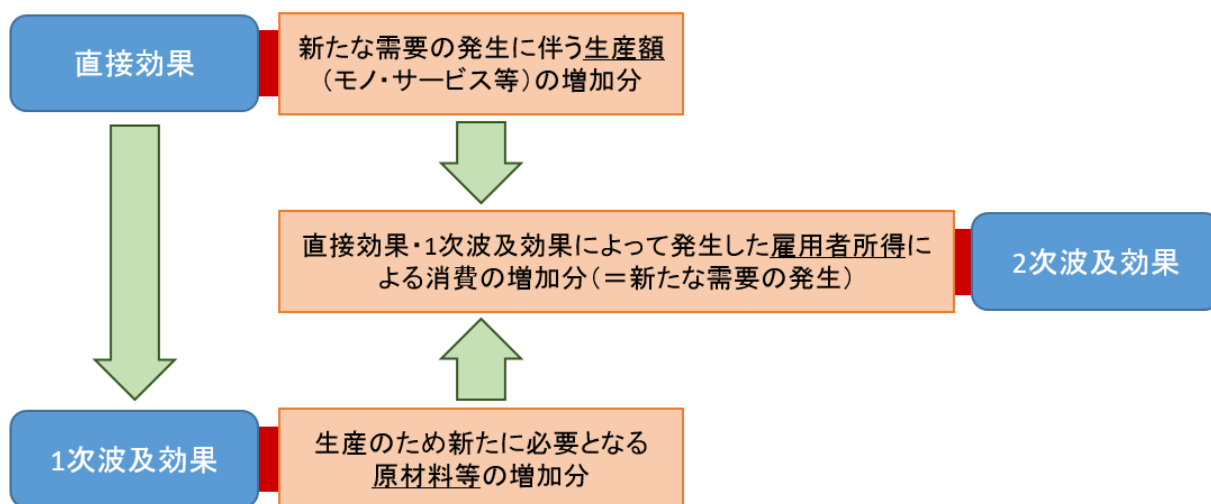
3. 「ホーランエンヤ」の島根県内における経済波及効果

(1) 算出プロセス

- 「**ホーランエンヤ開催における島根県内への経済波及効果**」は、ホーランエンヤ参加者（演者・観客）が島根県内で消費することにより発生する「**直接効果**」ならびに、「**直接効果**」から誘発される「**間接波及効果**」を足しあわせることで試算する
- 「**直接効果**」は、ホーランエンヤの参加者（演者・観客）を、島根県内外からの日帰り・宿泊者別に分類し、その入込者数に想定される消費支出単価を乗じ合算した額などとなる



- 「**間接波及効果**」は、直接効果の構成要素において必要となる財・サービス（原材料など）を生産・提供するために、島根県内企業にもたらされる生産誘発額である「**1次波及効果**」と、直接効果及び1次波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費支出に向けられることによって、県内産業にもたらされる生産誘発額である「**2次波及効果**」を合算した額となる



(2) 試算の前提条件

- 演者数は、前回（2009 年）並みの 388 人（松江市観光振興部）、「日帰り」と想定
- 観客数は、前回（2009 年）並みの 36.5 万人（松江市観光振興部）と想定
- 観客属性は、島根県「観光動態調査結果（2017 年）」に基づき、島根県外客／県内客、日帰り客／宿泊客別の 2017 年実績割合（構成比）を利用
- 消費支出単価は、島根県「観光動態調査結果（2017 年）」に基づき、島根県外客／県内客、日帰り客／宿泊客別の 2017 年実績値を利用
- 経済波及効果算出には、島根県の経済波及効果分析ツールを利用
- 開催費として、伝統・ホーランエンヤ協賛会、松江城山稻荷神社式年神幸祭奉賛会、阿太加夜神社式年神幸祭奉賛会の予算計 1.9 億円を想定

(3) 試算結果

- 前項の算出プロセス・前提条件により試算を行った結果、**直接効果が 25.6 億円、1 次波及効果が 7.0 億円、2 次波及効果が 5.6 億円、合計 38.2 億円**の経済波及効果が見込まれる

島根県内における 経済波及効果	試算結果		
	直接効果	1 次波及効果	2 次波及効果
38.2 億円	25.6 億円	7.0 億円	5.6 億円

- 試算した経済波及効果は「ホーランエンヤ」の開催期間中の総計値
- 観客数、消費支出単価等の試算前提条件は、一定の根拠に基づく推計値である



4. 「ホーランエンヤ」による地域活性化

- ホーランエンヤ開催に当たり、島根県内外から多数の観光客が松江市を訪れるものと予想される。10年に一度という希少価値による話題性は大きいですが、10年前と比べて、空路を中心とする交通利便性の向上、ネット環境の強化・SNSなどコミュニケーション手段の多様化による情報発信の充実などにより、集客環境は大幅に改善していると言える。
- 他方、その恩恵にあずかるのは松江市だけでなく、観光地間の競争も激しくなっている。松江市が誇る、茶の湯・和菓子などの伝統的なコンテンツや、松江城・堀川など歴史・文化を物語る貴重な観光資源にさらに磨きをかけるとともに、それらを広域的な「線」（交通手段やストーリー）で繋ぐことにより、松江市のみならず周辺地域も含めた潜在価値の向上が求められる。
- また、観光のみならず、進学や就職、企業立地や定住に当たっても、ユニークで斬新かつ古都・松江らしい取組みを積み重ねることが、「選ばれるまち松江」になれるかどうかの鍵となろう。
- 2019年は、1989年（明治22年）の市政施行により松江市が誕生してから130年目に当たる。ホーランエンヤが、令和の幕開けと市政130年の節目に相応しいイベントとなり、松江市が国際文化観光都市としての魅力をより一層高める契機になることを期待したい。





(お問い合わせ先)

株式会社日本政策投資銀行 松江事務所 上定 昭仁 ・ 樋野 奈都子

〒690-0887 島根県松江市殿町 111 松江センチュリービル 8 階

TEL : 0852-31-3211 FAX : 0852-27-3864

© Development Bank of Japan Inc. 2019

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。

また、本資料の分析内容・意見に関わる箇所は、執筆者個人に帰するものであり、当行としての見解ではございません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。

本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要です。当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い、引用・転載・複製する際は、必ず『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。